

厚生福祉


 時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
 昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
 毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
 購読料金 月額税込4,300円
 本誌掲載記事・写真などの無断複写・複製・転載を禁じます。
 ©時事通信社2012
 ◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
 kousei-dokusha@jiji.com

目次

特集 特定看護師⑥ 重度の人の在宅療養を支える 村井恒之さん	2
東日本大震災関連情報	5
原発事故、現場の姿描く ほか	
詳報 転機迎える厚年基金制度 10年後廃止、調整難航も	6
ワンコイン健診の現場から vol.9 フィリピン人英会話教師の8割は看護師!?	7
中央省庁ニュース	8
社保審部会、意見集約は年明けに ほか	
進言(山形県)	9
太陽光パネルも公園占用可能に 低炭素建築物は容積率緩和へ一国会省	10
インタビュールーム(福島県)	11
いじめ、上半期14万件超 重大事案は278件—文科省	12
社説拝見 11月前期一厚生年金基金廃止に賛否	14
新刊図書の中から	17
ニュースフラッシュ	18
【福祉・子ども】聴覚障害者の災害支援でバンドナノ/「ひきこもり支援センター」設置へ ほか【医療・健康】病児デイケアセンター事業を実施 ほか【環境・ゴミ】サンゴ保全でサポーター募集 ほか【労働・女性】企業の障害者雇用窓口を開設	

シルクロードの旅

九月、十月と、六十一日をかけて西安からローマまでの新ユーラシア大陸をバスで横断した。体力、仕事など決心するまでには少しの時間が必要だったが、行くなら今しかない、と決断した。実際には意外と道路事情も良くなっていてその点は助かったのだが、スタートの中国のトイレ事情は想像以上の不潔さで、高層建築が進む中、アンバランスなものを感じた。また、あちこちの公園などで軍事訓練をする新入学生の姿も、日本とは異なる国の姿であった。

ローマのヴァチカン市国を除いて十五カ国の国境を越えたのだが、国境事情は隣国との関係によって困難度が異なる。前半の国境越えは、まるで

社会福祉法人新生活会
 名誉理事 長 石原美智子



難民のような姿で荷物を全て自分で運んで越えなければならぬ。ヨーロッパに近づくにつれてスムーズになり、EUに入ると当然ながらバスでそのまま通過してしまう。

イランでは、旅行者でも女性は髪や肌を隠して長いコートなどで体の線が見えない様にする。イスラム教を国の宗教とする社会は、似非信者も結構多そうに見受けられたが、権力を手に入れようとするイスラム教でなくてはならない。

国民は国が示す方法でしか生きる術がない。肌をすっきり隠している女性は、少しだけ出ている顔の整形や化粧に余念がない。また、真っ黒なチャドルを身に着けて外出していても、家ではその

反動か実に華やかならしい。というのもバザールへ行くと、日本ではキャバレーの衣裳かと思えるような派手な下着や布が所狭くと売られているのだ。イランを出てロングコートやショールを脱いだ時、身体的な解放感よりも、この社会の欺瞞に満ちた二重性から解放されたことの安堵感の方が大きかった。人は表の見せかけが厳しいほど、裏では異なった社会を形成するものだ。

そんな人間の心理を考えれば、私たち介護を生涯として二十四時間、三百六十五日動いている組織は、そこでサービスを受けている人々も、サービスを提供している者も、皆が等しく可能な限り自然体で過ごせるような環境を創り上げることが目標になるのだろう。

数千年の歴史を刻んだシルクロードを旅して、改めて質の高いケアに挑戦する力を得たのである。